

学生環境活動団体による 環境課題改善に向けたコーディネート力 向上支援体制の構築

〒105-0003
東京都港区西新橋2-11-5
TKK西新橋ビル3F
電話:03-3580-8284
E-mail:support@ecocon.info
http://www.ecocon.info/



ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発



北海道EPOでのヒアリング調査の様子

EPOでのヒアリング件数

5件

事例集に掲載した連携の事例

57事例

今年度計画の達成度

50%

活動の全体目標に対する達成度

45%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

想定よりもアンケートによる学生団体との連携事例報告の量が多かったり、連携方法の内容が多様であったため、事例をまとめる際の見せ方は何度かの検討を重ねた。

■ 工夫した点

ヒアリング調査の際は大学生のスタッフも同行させ、大学生目線での質問を行ったり、ヒアリング対象が大学生と直接意見交換が出来る機会とした。

課題

他セクターとの連携が行われていない学生団体では、資金面や活動の現場、ネットワークの拡充などの組織コーディネート力が十分ではないため、活躍の機会が限られてしまう。

目標

学生団体と自治体、企業、環境NPO・NGOとの連携を促進して、地域における環境活動を活性化させるとともに、全国の学生団体による環境活動の質や範囲を向上させる。

活動内容と成果

各自治体へのアンケート調査を行い、学生団体との連携の実績や学生に期待することのほかに、具体的な事例とその効果について尋ねる追加のアンケート調査を行った。

また、全国環境パートナーシップオフィス(EPO)を訪問し、地域における学生団体と他セクターとの連携の事例等についてもヒアリング調査を実施し、取りまとめを行った。

アンケート、ヒアリングで得られた意見や事例をもとに学生団体との連携における事例集を作成し、事例及びその効果のほかに、連携におけるメリットや注意すべきことなどについてまとめた。



JA北海道でのヒアリング調査の様子

全助成期間の活動を振り返って

当初実施を想定していた「具体的な連携事例の構築」を実施することはできなかったが、アンケートやヒアリングを深掘りすることにより、多様な連携手法であったり、全国各地における学生環境団体の実状や抱える課題などを把握することができた。EPOへのヒアリング等を実施したことにより全国の学生団体にアクセスできるネットワークを構築することができたため、今後各地の学生団体との連携の際に活用したい。



関き書き甲子園フォーラムへの参加

今後の展望

学生環境団体と他セクターとの連携については、継続して推進を続ける。連携を前提としたマッチングの場を設けるのではなく、地域のイベント等において学生団体が自治体や企業と交流を持てる機会を提供し、双方の考えや活動内容等についての知見を深めてもらうことを行いたい。

また、作成した事例集はアップデートを行い、新たな連携の手法を掲載するなど、学生団体との連携を希望する団体のさらなる後押しをできるようにする。